



PRチラシを手に説明する
上原運営委員長

「しらかば宅配」
〈運営委員長(商工会商業部会長)〉
上原一芳さんに伺いました。

立ち上げの経緯について教えてください。

諏訪市の百貨店閉店で買い物弱者問題が大きく取り沙汰されましたが、すでに商業部会でも3年前から視察や勉強会などを始めていました。昨年には参加協力店で委員会を立ち上げ、どのような形にしているか意見を集約していきま

す。ズバリ「しらかば宅配」の内容を教えてください。

ある視察先では、行政から多額の補助を受けて事務所や車両、食料を保管する冷蔵庫といった設備のほか、電話オペレーターまで雇用している事例

もありましたが、とても富士見町では無理。意見集約の中でも「継続していくためには、お金のからないやり方」という話になり、すでに町内業者の多くが個別で配達サービスを行っていることから、それらを「しらかば宅配」という統一ブランドとしてPRしていくことで、皆さんに広く知っていただくということになりました。広告は商工会の予算で行うので、参加店にとっては宣伝費用なしでPRできるメリットもあります。

今後の展望は？

3カ月から半年に一度くらいのペースで、さらに参加協力店を募っていくということですが、現在も募集していますが、今後より多くのお店に参加していただけたらと思います。

町に対する要望や、協力してほしいことなどは？

「PRのチラシを役場にも置いてもらえませんか」とお願いしたところ、「大判ポスターにして貼ってみては？」というお話も含め、現在前向きに検討していただいています。町民の皆さんに一人でも多く知っていただきたいと考えていますので、よろしく願います。

議員勉強会開催

養護学校で学んだこと ～卒業後の豊かな生活へ～

9月18日、諏訪養護学校の関祐二先生をお招きして、議員勉強会を開催しました。

養護学校で、障がいがあるからこそ深く悩み、他人のこと、社会のことを考えている生徒たちの姿を見てきたこと。生徒たちとの会話を通して「障がい者」というのは社会がつくりだし、自分も差別する人間になり得ることを気づかされたという話が印象に残りました。

昨年、信濃境駅近くに障がいに関係なく誰でも生活することができ、働いて学べる地域の学校づくりを目指して「八ヶ岳南の学校」を開設、イベント等を通して地域の人のつながりができ

てきたそうです。

議会としてもこうした自発的な市民の活動を応援していきたいと思います。



議会傍聴記

仲間3人と一般質問の傍聴に行ってみた。
議員に押し出したまま放置してきたが、たまには厳しくチェックしてやろうとの思いである。

TPPについて、締結後の町の対応を問うという内容だった。30分余の熱弁の割には、「現時点ではすべてが未定である以上対応は困難。時期が来れば全力で対応する。」との簡単な答弁であった。

突っ込みの甘さは感じるが、熱意に免じて了としよう。100時間以上準備にかけたとのこと。これには脱帽した。

最後の項目まで一通り質問して、まとめて答弁するというやり方に違和感を持ったが、ルールとのこと。ルールを変えれば一問一答式は可能だが、全職員をスタッフに使える町長に対して、議員は孤立無援、厳しいそうだ。

次には他の議員の質問も聞いて、比べてみたい。

(61歳 男性)